



Report Templateの編集方法 (Ver.3.2.x)

株式会社エービー・サイエックス
アプリケーションサポート部

2012月12月版



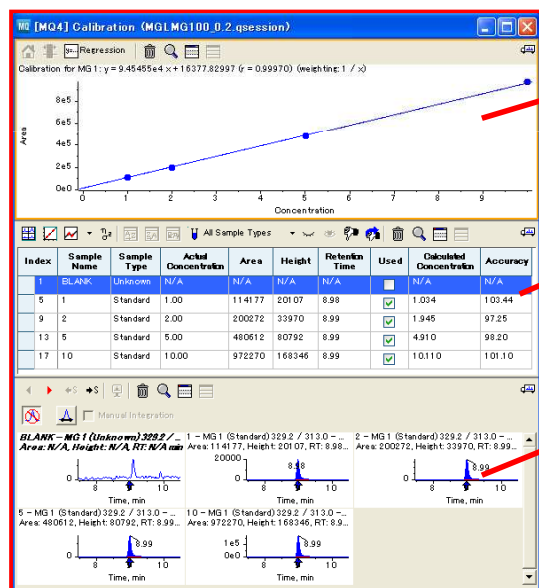
-目次-



1. Reporter Softwareとは
2. 動作環境とインストール
3. レポートの作成(Analyst、MultiQuant)
4. Report Templateの編集方法
5. Report Template Converterの使用方法
6. その他
 - ・初めてReport Templateの編集画面を開く
 - ・MultiQuant2.1.x使用時のクロマトグラムの表示

◎定量結果をご希望の形でレポートファイルにします。

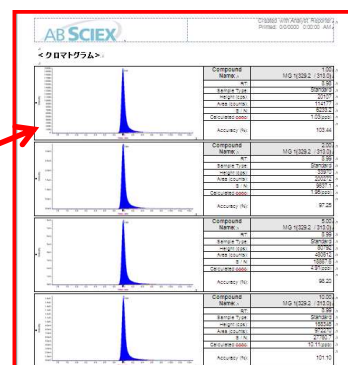
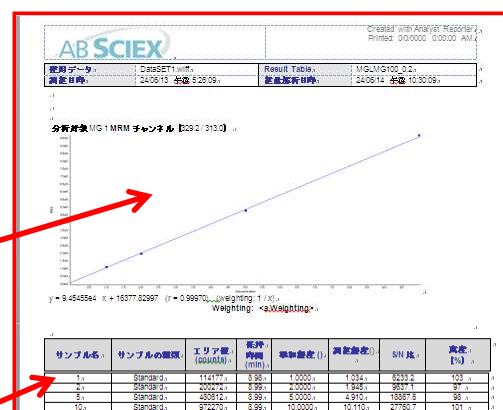
- ・WordやPDF形式で出力します。
- ・印刷機能ではできないことを補います。
- ・テンプレートは編集、作成可能です(Word)。



検量線

定量結果

クロマト



© 2012 AB SCIEX

1. Reporter Softwareとは

Reporter 3.2.x Softwareは、Result Tableからの情報をあらかじめ作成された Report Templateに基づいてレポートを作成するソフトウェアです。

Reporter 3.2.x Softwareは、Analyst1.6.x, MultiQuant2.1.x, Cliquid3.2.xに付属のソフトウェアとして提供しています。

【特徴】

- ・Report Template はXMLスキーマ※で定義されています。
- ・Word、PDFで出力することが可能です。
- ・日本語によるレポート作成に対応しています。
- ・Reporter3.0.xで作成したReport Templateをコンバートして使用することが可能です。

※XML文書の論理的構造を定義する為に開発されたスキーマ言語の一つです。

2. 動作環境とインストール

【動作環境】

- ・Analyst1.6.x, MultiQuant2.1.x, Cliquid3.2.x が動作する環境
- ・Microsoft Office 2007以降のバージョン

【インストール】

Analyst1.6.x, MultiQuant2.1.x, Cliquid3.2.xをインストールした際に、自動的にインストールされます。

(C:\Program Files\AB SCIEX\AnalystReporter)

【Report Templateの保存場所】

インストールされたソフトウェアにより保存場所が異なります。

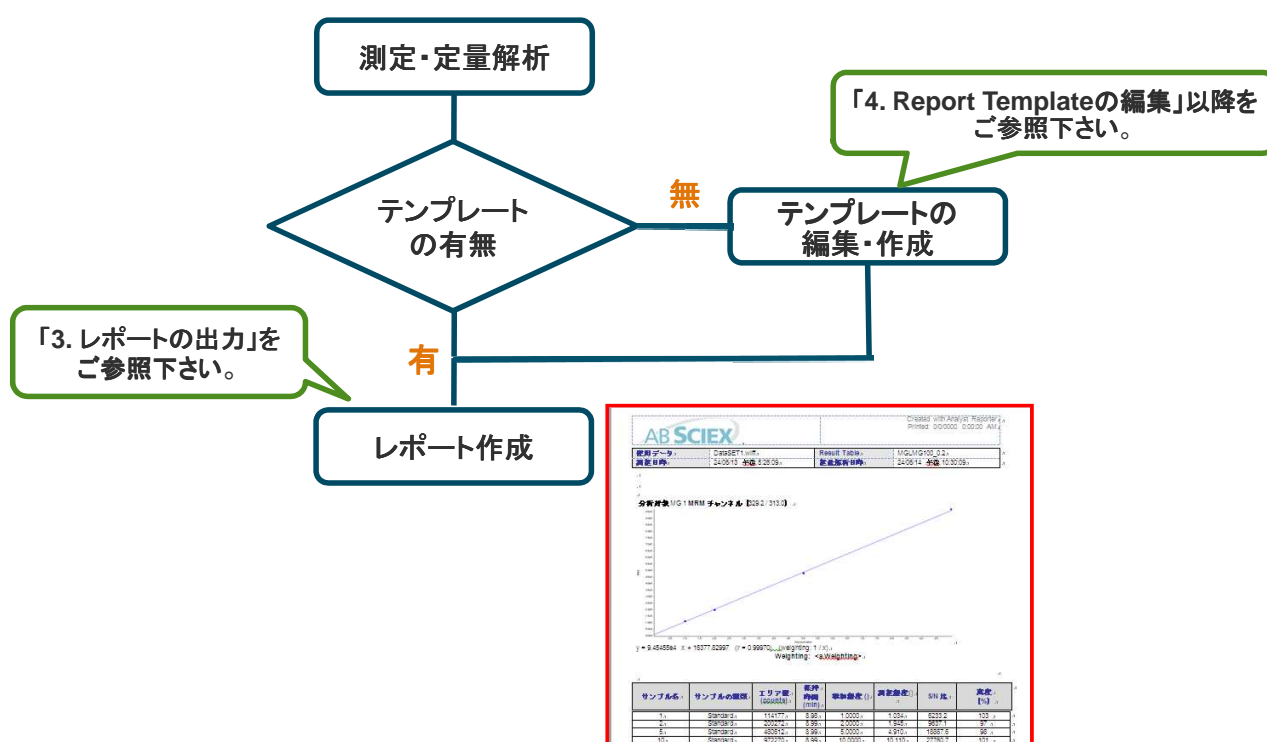
Analyst: \Analyst Data\Projects\API Instrument\Templates

Multi Quant: C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\AB SCIEX\MultiQuant\Reporter

Cliquid: \Analyst Data\Projects\Cliquid\Templates\ReportTemplates

3. レポートの出力

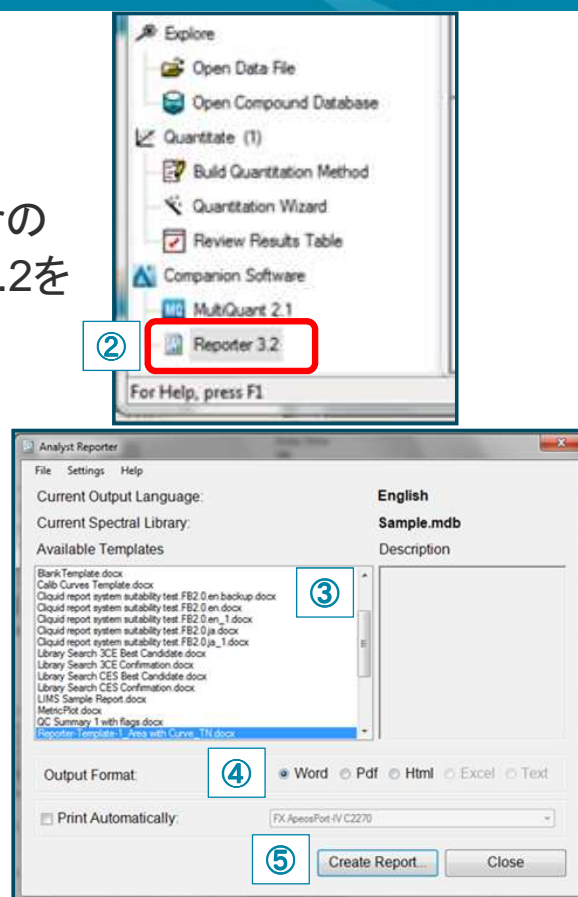
レポートは下記ワークフローにしたがって作成します。



3. レポートの作成

【Analyst1.6.xの操作手順】

- ①Result Tableを開きます。
- ②Analyst画面左側、Navigation Barの Companion Software>Reporter3.2をクリックします。
- ③Report Templateを選択します。
- ④出力フォーマットを選択します。
- ⑤Create Reportをクリックします。
- ⑥名前をつけて保存・作成します。

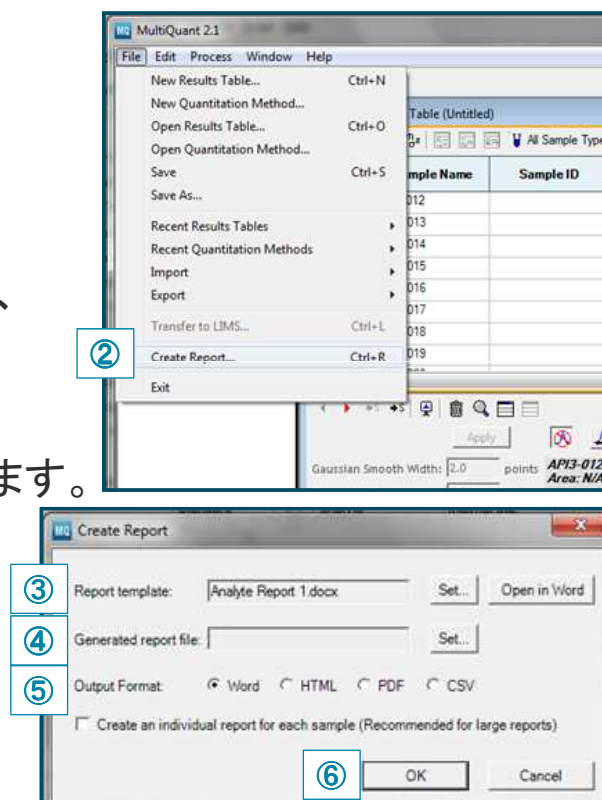


7

3. レポートの作成

【MultiQuant3.2.xの操作手順】

- ①Result Tableを開きます。
- ②File>Create Reportをクリックします。
- ③Report template>Setをクリックし、Report templateを選択します。
- ④Generated report file>Setをクリックし、保存先・名前を指定します。
- ⑤出力フォーマットを選択します。
- ⑥OKをクリックし作成します。

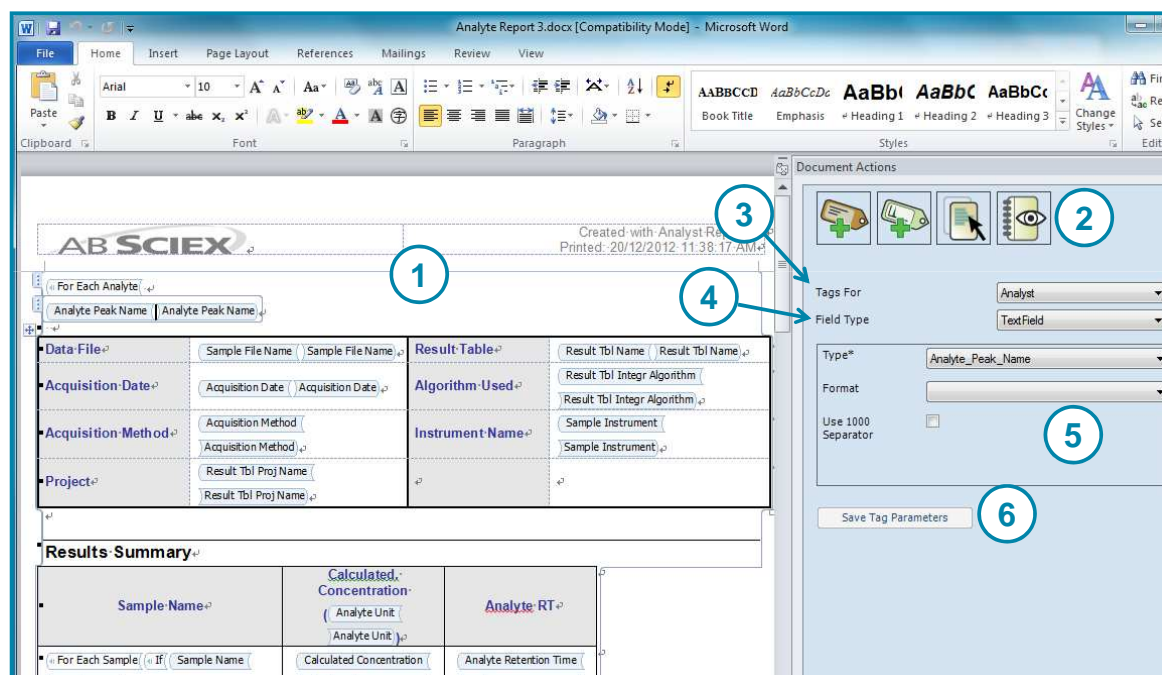


8

4. Report Templateの編集





①編集画面

Report TemplateをWordで開くと下記の様な画面が表示されます。





4. Report Templateの編集

①編集画面(詳細)

番号	詳細
①	現在適用されているtagが表示されます。
②	アイコン説明  : 新しいtagを追加します  : content areaを表示します  : picture tagを追加します  : audit logを表示します。
③	Tags For : tag参照元のソフトウェア名を表示します。
④	Field Type : 上記ソフトウェアで使用可能なField Typeを表示します。
⑤	選択したField Typeに応じて利用可能な項目一覧が表示されます。
⑥	Save Tag Parameters: 変更点を保存します。変更点が保存されなかった場合、保存するようメッセージが現れます。

②基本操作

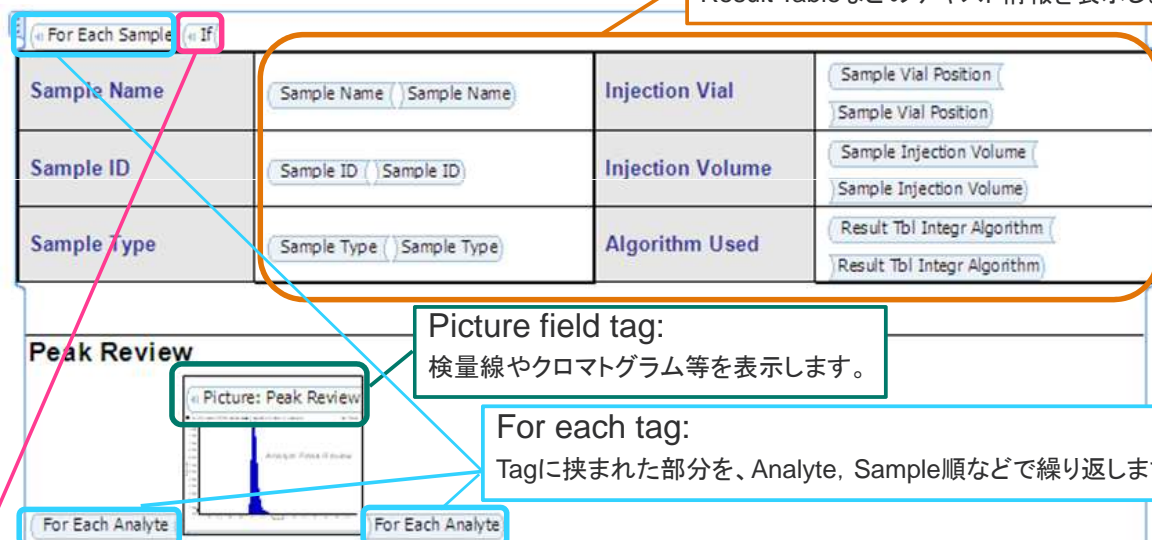
操作	詳細
Field typeの変更	Tagの内側をクリックし、Filed type、attributeを変更します。
Attributeの変更	Tagの内側をクリックし、attributeを変更します。
Tagの追加	 をクリックします。
Pictureの追加	 をクリックします。
Tagの適用範囲の表示	 をクリックします。
Audit log の表示	 をクリックします。
Tagのコピー・貼付け	Tagを選択してコピーし、挿入したい場所に貼付けます。 ※attributeはコピーされませんので、必ず設定し直します。
Tagの内側への移動方法	キーボードの矢印キー(←・→)で移動します。
Tagの消去	Tagの右側にカーソルがある場合：Deleteキー Tagの左側にカーソルがある場合：Back spaceキー

4. Report Templateの編集

③各種Tagの説明

Report templateには、For Each tag, If tag, Text field tag, Picture field tag, Meta Field tagなど様々なtagがあります。

Text field tag:
Result Tableなどのテキスト情報を表示します。



If tag:
Tagで囲まれた部分は、条件を満たした場合だけ実行されます。


③各種Tagの説明

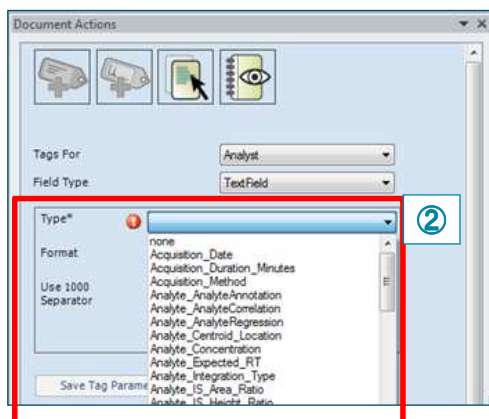
【Text Field Tag】

Analyte Concentration Analyte Concentration

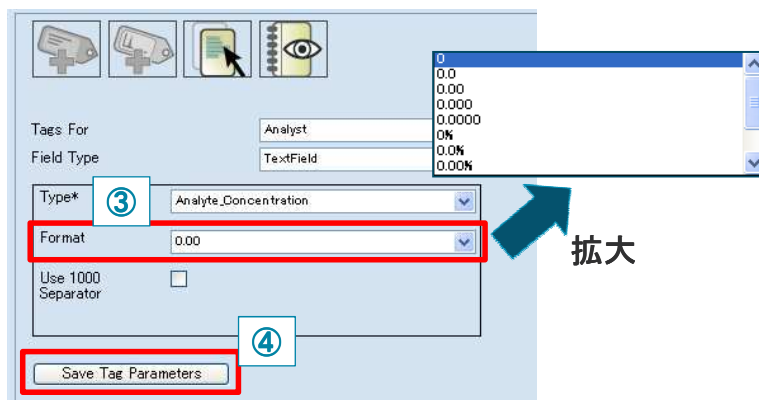
Result Tableなどのテキスト情報を表示します。

○使用方法

- ①挿入したい場所にカーソルを合わせ  をクリックします。
- ②Typeから表示したい項目を選択します。
- ③数字であればFormatから表示形式を選択します。
- ④Save Tag Parametersをクリックし保存します。



13



© 2012 AB SCIEX


4. Report Templateの編集

③各種Tagの説明

【Picture Field Tag】

検量線やクロマトグラム等を表示します。

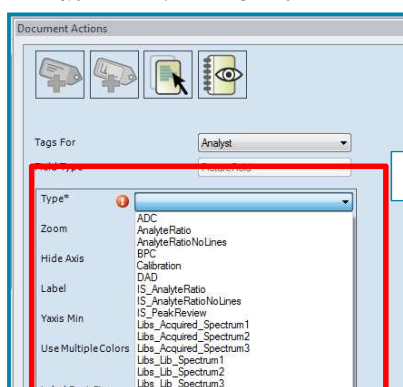
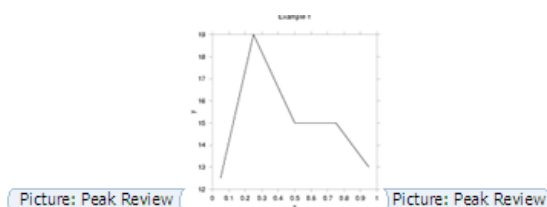
○使用方法

- ①挿入したい場所にカーソルを合わせ  をクリックします。
- ②Typeから表示したい項目を選択します。
- ③Zoom(X軸の表示範囲の指定), Yaxis Min※1を設定します※2。
- ④Save Tag Parametersをクリックし保存します。

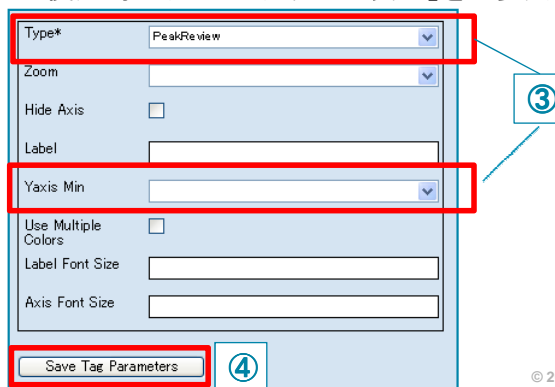
※1 Yaxis Minは、Y axis units or largest peakとして働きます。

※2 MultiQuantの場合はPeak Review Optionsの設定が優先されます。

詳しくは、「6. その他 MultiQuant2.1.x使用時のクロマトグラムの表示」をご参照下さい。



14



© 2012 AB SCIEX


③各種Tagの説明

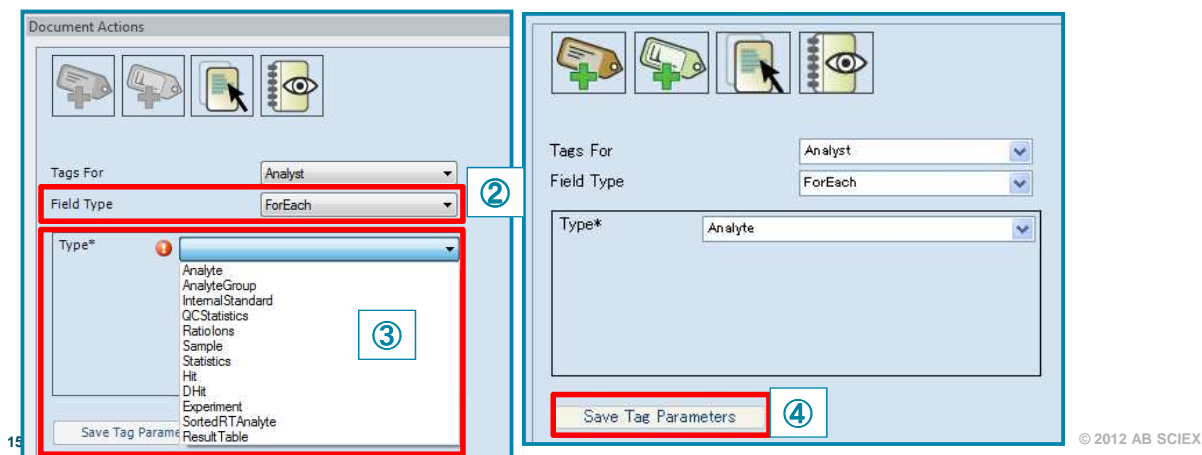
【For Each Tag】

For Each Analyte For Each Analyte

Tagに挟まれた部分を、Analyte, Sample順などで繰り返します。

○操作方法

- ①挿入したい場所にカーソルを合わせ  をクリックします。
- ②Field TypeからFor Eachを選択します。
- ③Typeから表示したい項目を選択します。
- ④Save Tag Parametersをクリックし保存します。



© 2012 AB SCIEX


③各種Tagの説明

【If Tag】

If If

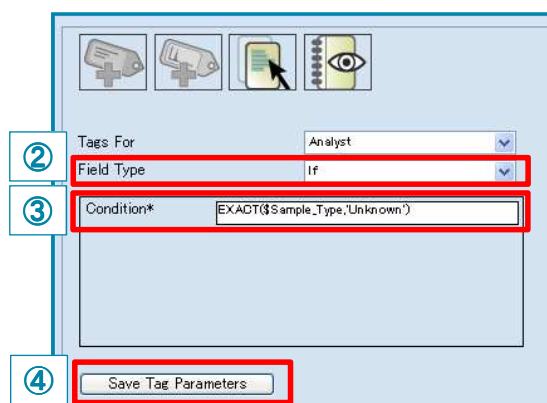
Tagで囲まれた部分は、条件を満たした場合だけ実行されます。
※例えば、unknownサンプルのみ表示したい場合等。

○操作方法

- ①挿入したい場所にカーソルを合わせ  をクリックします。
- ②Field Typeから「If」を選択します。
- ③Conditionに条件※を入力します。
- ④Save Tag Parametersをクリックし保存します。

※Conditionの条件例

条件	Condition
Unknownサンプルのみを指定	EXACT(\$Sample_Type, 'Unknown')
Standardサンプルのみを指定	EXACT(\$Sample_Type, 'Standard')

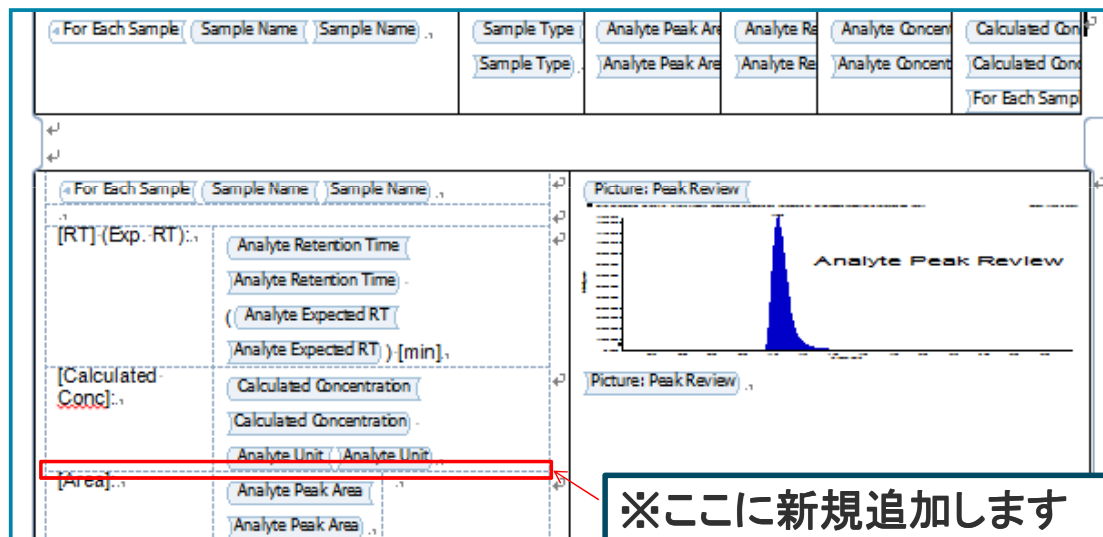


© 2012 AB SCIEX

④ Report Templateの編集例

例: Singal to Noiseを追加します。

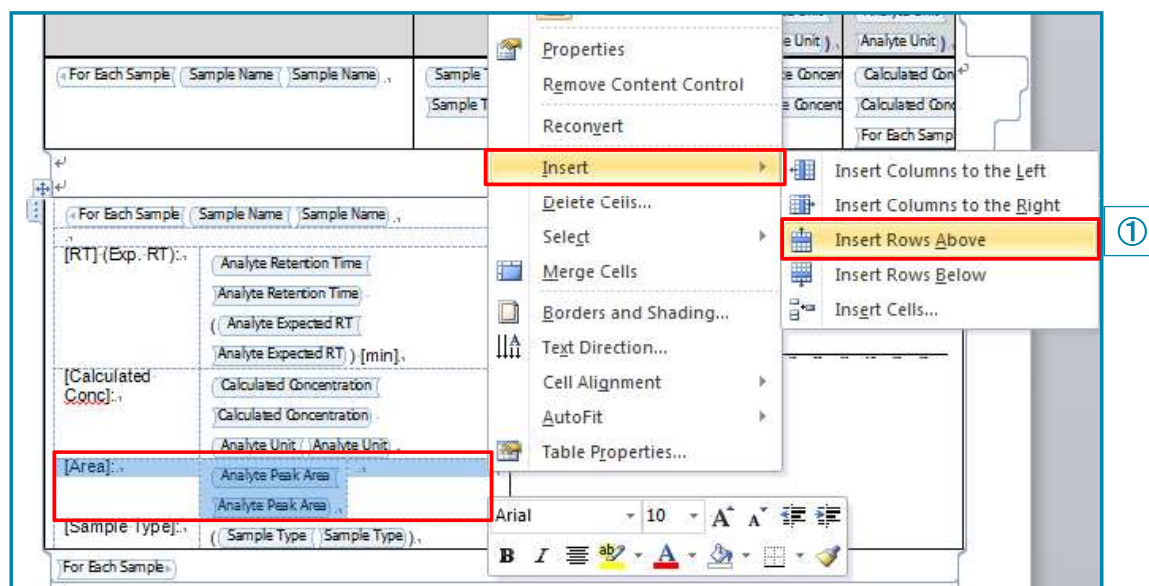
→CalculatedConc.とAreaの間にSingal to Noiseを追加します。



④ Report Templateの編集例

例: Singal to Noiseを追加します。

①行を追加します。



④ Report Templateの編集例

例: Singal to Noiseを追加します。

②挿入された行に、Signal to Noiseを入力します。

The screenshot shows the Report Template editor interface. A red box highlights the '[Signal to Noise]' field in the template, with a circled '2' next to it. The template includes fields for 'Sample Name', 'Sample Type', 'Analyte Peak Area', 'Analyte Retention Time', 'Analyte Expected RT', 'Analyte Concentration', 'Calculated Concentration', and 'Analyte Unit'. A 'Picture: Peak Review' section is also visible on the right side of the template.

19

© 2012 AB SCIEX

④ Report Templateの編集例

例: Singal to Noiseを追加します。

③挿入したい場所にカーソルを合わせ、をクリックします。

④TypeからAnalyte Singal to Noiseを選択します。

⑤Format(表示桁数)を選択します。

The screenshot shows the Report Template editor interface. A red box highlights the '[Signal to Noise]' field in the template, with a circled '3' next to it. To the right, the 'Document Actions' dialog box is open, showing the 'Type*' dropdown menu with 'Analyte_Signal_To_Noise' selected (circled '4'). Below this, the 'Format' dropdown menu is open, showing '0.0' selected (circled '5'). The template includes fields for 'Sample Name', 'Sample Type', 'Analyte Peak Area', 'Analyte Retention Time', 'Analyte Expected RT', 'Analyte Concentration', 'Calculated Concentration', and 'Analyte Unit'. A 'Picture: Peak Review' section is also visible on the right side of the template.

20

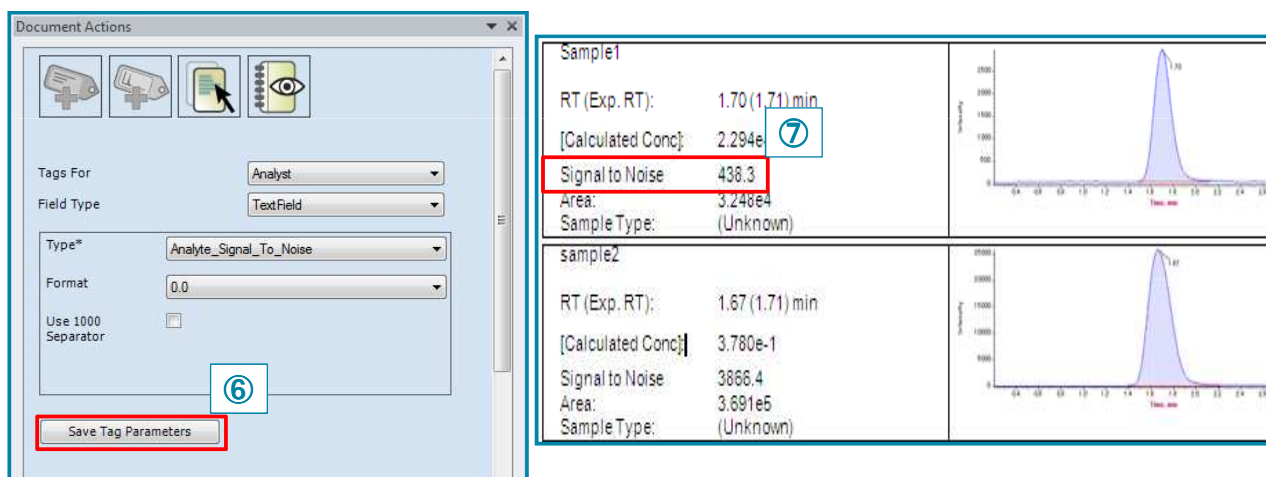
© 2012 AB SCIEX

④ Report Templateの編集例

例: Singal to Noiseを追加します。

⑥ Save Tag Parametersをクリックし、保存します。

⑦ 印刷例

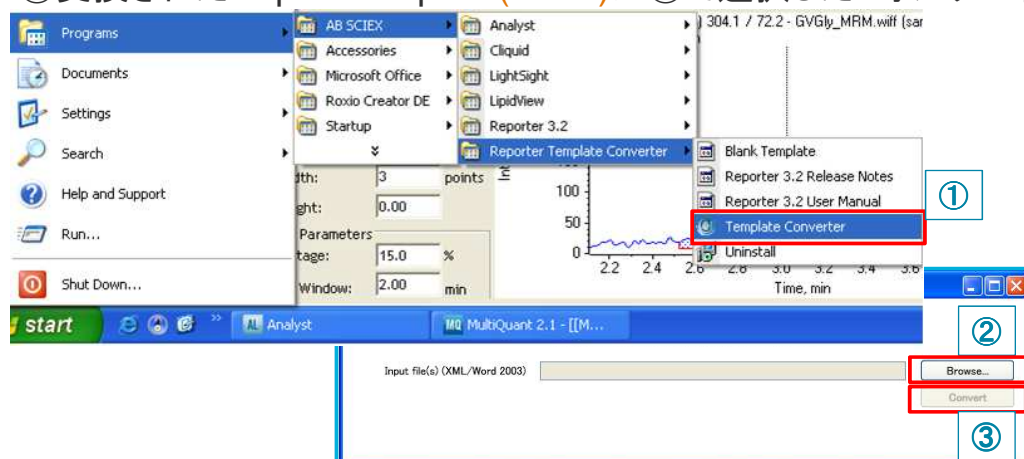


5. Report Template Converterの使用方法

Reporter3.0.1のReport Template(.xml)をReporter3.2.xで使用可能なReport Template(.docx)に変換出来ます。

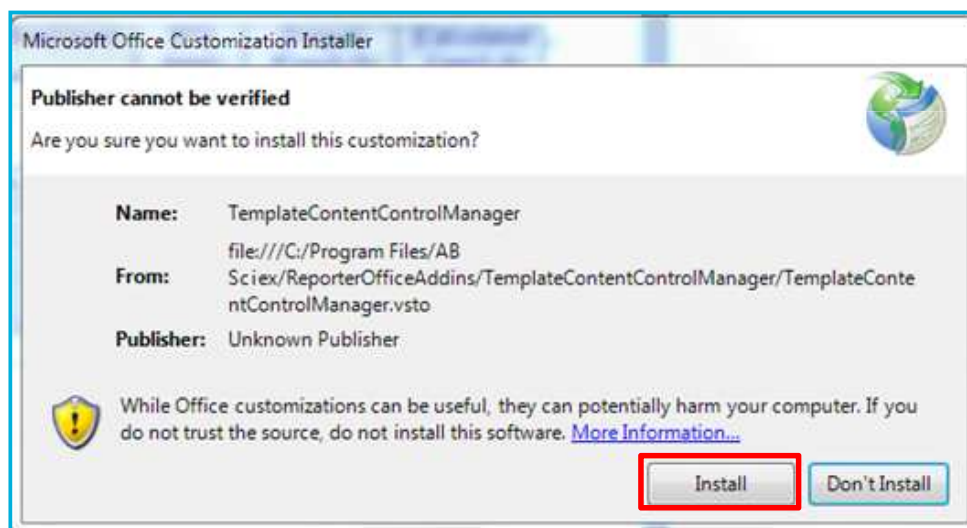
○使用方法

- ① Start menu>All Programs>AB SCIEX> Reporter Template Converter> Template Converterをクリックします。
- ② 変換したいReport Template(.xml)を選択します。
- ③ Convertをクリックします。
- ④ 変換されたReport Template(.docx)が②で選択したフォルダに保存されます。



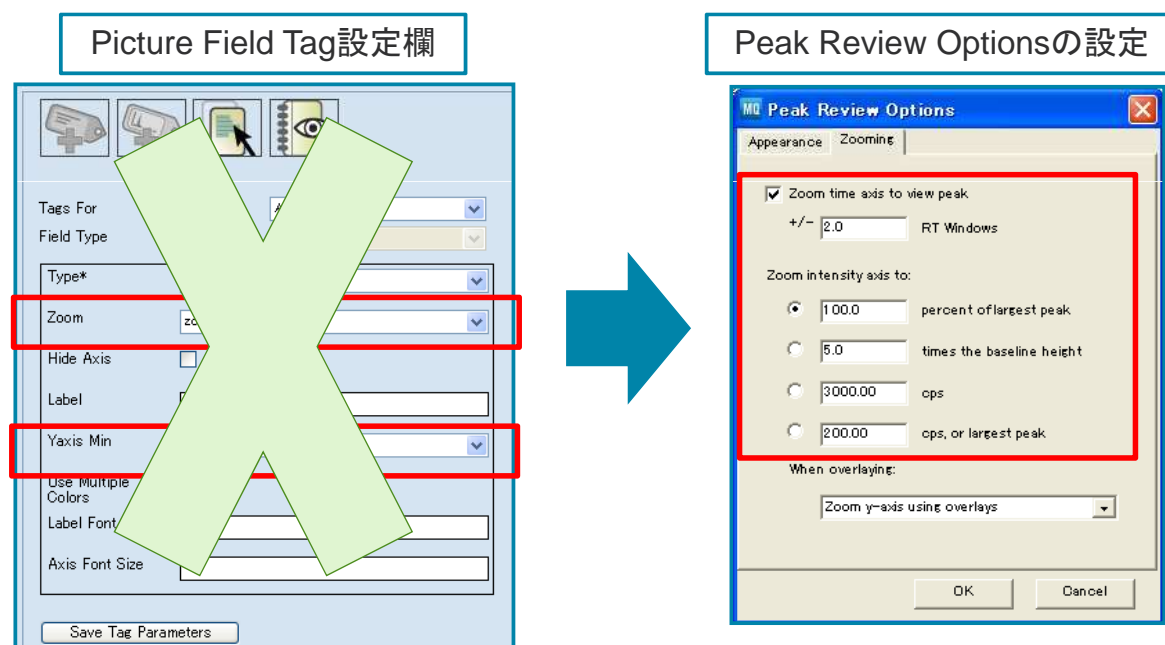
・初めてReport Templateの編集画面を開く

初めてReport Templateの編集画面を開く際、下記の様な画面で出てくる場合があります。Report Templateを編集するための機能をインストールする確認画面になりますので、Installをクリックしインストールして下さい。
インストール後「4. Report Templateの編集」の様にWordが開きます。



・MultiQuant2.1.x使用時のクロマトグラムの表示

Picture Field Tagの設定にZoom(X軸の表示範囲の指定), Yaxis Minの設定がありますが、MultiQuant2.1.xでレポートを作成した場合はこの設定が反映されません。MultiQuantのPeak Review Optionsの設定が反映されます。



研究用にのみ使用できます。診断目的およびその手続き上での使用は出来ません。

For Research Use Only. Not for use in diagnostic procedures.

The trademarks mentioned herein are the property of AB Sciex Pte. Ltd. or their respective owners.

AB SCIEX™ is being used under license.

詳細な説明や知的所有権等に関しては付属のマニュアルを必ずご確認ください。

© 2012 K.K. AB SCIEX.